

2022年版 アスパラガス雑草防除基準及び農薬・除草剤使用基準

1. 雑草防除基準

散布時期	処理法	薬剤名及び10a当り使用量	摘要
萌芽前	全面散布	ロロックス 150~200g またはゴーゴーサン乳剤30 200~400ml またはゴーゴーサン細粒剤F 4~6 kg	ゴーゴーサン細粒剤F以外は、水100ℓにおいて土壌水分が中庸な時に散布する。また、雑草が既に生えている場合は、水100ℓ当りザクサ液剤300~500ml（収穫前日、2回以内）またはプリグロックスLを1000ml（収穫前日、3回以内）の割合で使用する。（展着剤は不要、収穫打切後散布は畦間処理、アスパラガスにはかけないこと） センコル水和剤使用の場合、薬害回避のため降雨前に散布しない。
収穫打切後	全面散布	トレファノサイド乳剤200~300ml または センコル水和剤100~150g	
	畝間散布	ロロックス 150~200g	使用回数は全面散布で1回、畝間散布で1回まで。散布回数注意。
10月下旬	畦間処理	水100~150ℓに ザクサ液剤 300~500ml（収穫前日）	
特別散布（収穫終了後）	畦間処理 スギナ対策	水25~50ℓにタッチダウン iQ またはラウンドアップマックスロードを1,500~2,000 mlの割合で使用する。	アスパラガスにはかけないこと。

2. 野ソ対策

①殺そ剤	散布量（10a当り）	農薬使用量	時期
ヤソチオン 劇	200~300g	そ穴へ投入、5g小袋 40~60袋	春の雪融け後、秋は根雪前が重点防除時期
ラテミンリン化亜鉛1%	60~120g	そ穴へ投入、2g小袋 30~60袋	

②パチンコ（ラットキラー・板パッチン）を仕掛ける。③石灰窒素（防散）10a当り60~100kgを茎葉刈取後、根雪前の露のある早朝に散布する。（除草兼用）

3. ナメクジ対策

品名	使用量・使用方法
スラゴ	10アール当り1~5kg、1㎡当り1~5gを株元の土壌表面に散布する。

安全・安心な農産物生産のために防除・使用基準を厳守しましょう。

4. アスパラガス農薬使用基準

薬剤名	対象病害虫名	希釈倍数	使用時期	使用回数	
アミスター20フロアブル	茎枯病、斑点病、褐斑病	2,000倍	収穫前日	4回以内	
コサイド3000	茎枯病、斑点病、褐斑病	2,000倍	—	—	
ジマンダイセン水和剤（露地のみ）	茎枯病、褐斑病（400~600倍）、斑点病（500倍）	400~600倍	収穫終了後但し秋期まで	6回以内	
ダコニール1000	茎枯病、斑点病、褐斑病、疫病	1,000倍	収穫前日	4回以内	3剤の 合計4回 以内
フォリオゴールド	疫病	1,000倍	収穫前日	3回以内	
プロポーズ顆粒水和剤	疫病	1,500倍	収穫前日	3回以内	
トップジンM水和剤	茎枯病、立枯病	1,000倍	収穫開始7日前	5回以内	
ベルコート水和剤	茎枯病、斑点病、褐斑病	1,000倍	収穫7日前	5回以内	
ベンレート水和剤	茎枯病、株腐病	2,000倍	収穫前日	4回以内	
ラリー水和剤	斑点病、褐斑病、茎枯病	4,000倍	収穫前日	2回以内	
シグナムWDG	茎枯病、斑点病、褐斑病	1,500倍	収穫前日	2回以内	10ボルドー66Dとの混用可否
ICボルドー66D	茎枯病	50倍（収穫終了後）、100倍（収穫期間中）			
ウララDF	アブラムシ類、ネギアザミウマ	2,000倍	収穫前日	3回以内	○（直前混用）
カスケード乳剤	ハスモンヨトウ、オオタバコガ、アザミウマ類	4,000倍	収穫前日	2回以内	○（直前混用）
コテツフロアブル 劇	ハダニ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ジョウホシクビナガハムシ、ヨウムシ	2,000倍	収穫前日	2回以内	○（直前混用）
コルト顆粒水和剤	ネギアザミウマ、カスミカメムシ類、コナジラミ類	4,000倍	収穫前日	3回以内	○（直前混用）
ディアナSG	コナジラミ類（2500倍）、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ	2,500~5,000倍	収穫前日	2回以内	×
モスピラン顆粒水溶剤 劇	アブラムシ類、アザミウマ類、ジョウホシクビナガハムシ、コナジラミ類、カメムシ類	4,000倍	収穫前日	2回以内	○（直前混用）
ダントツ水溶剤	アブラムシ類、アザミウマ類、ジョウホシクビナガハムシ、カメムシ類	2,000~4,000倍	収穫前日	3回以内	○（直前混用）
プレオフロアブル	ハスモンヨトウ、オオタバコガ、アザミウマ類、ヨウムシ	1,000倍	収穫前日	2回以内	×
コロマイト乳剤	ハダニ類	1,000倍	収穫前日	2回以内	×
アディオオン乳剤	アブラムシ類、カメムシ類、ハスモンヨトウ、ヨウムシ、ジョウホシクビナガハムシ	2,000倍	収穫前日	同一成分のため2剤	○（直前混用）
ガードベイトA	ネキリムシ類	10a当り3kg	収穫前日	合わせて3回以内	—

5. アスパラガス除草剤使用基準

薬剤名	適用雑草名	10a当り使用量	使用時期	使用回数
ククロIPC	1年生雑草	水70~100ℓに 250~300ml	培土後雑草発生前、但し収穫30日前	1回
センコル水和剤	1年生雑草	水100ℓに 100~150g	萌芽前~萌芽始期・収穫打切後（雑草発生前~4、5葉期）	1回
トレファノサイド乳剤	1年生雑草（ツクサ科・キク科・ヤツリガサ科・アブラナ科を除く）	水100ℓに 200~300ml	萌芽前・収穫打切後（雑草発生前）	1回
ザクサ液剤	1年生雑草	水100~150ℓに 300~500ml	雑草生育期（萌芽前または畦間処理）・収穫前日	2回以内
プリグロックスL 毒	1年生雑草 スギナ	水100~150ℓに 600~1,000ml 水100~150ℓに 1,000~2,000ml	雑草生育期（畦間処理）但し収穫前日	3回以内
ロロックス	1年生雑草	水70~150ℓに 150~200g	萌芽前（雑草発生前~発生始期）（全面散布）	全面散布は 合わせて1回
	1年生雑草	水100~150ℓに 150~200g	萌芽始期但し、収穫前日まで（全面散布） （雑草発生前~発生始期）	
	1年生広葉雑草	水100ℓに 150~200g	生育期但し、収穫前日まで（畦間・株間処理）	1回
タッチダウン iQ	スギナ	水25~50ℓに 1,500~2,000ml	雑草生育期（畦間処理）、但し収穫前日	3回以内
	1年生雑草	水25~50ℓに 250~500ml	耕起7日以前まで（雑草生育期：草丈30cm以下）	
ゴーゴーサン乳剤30	1年生雑草	水70~150ℓに 200~400ml	萌芽前（雑草発生前）	合わせて 1回
ゴーゴーサン細粒剤F		4~6kg		
ラウンドアップマックスロード	1年生雑草	水25~50ℓに 200~500ml	雑草生育期（畦間処理）・収穫前日または耕起前	2回以内 （耕起前は1回）
	スギナ	水25~50ℓに 1,500~2,000ml	雑草生育期（畦間処理）・収穫前日	